



グリーンハイクで高見山に

今年も日本勤労者山岳連盟(労山)によるクリーンハイク(清掃登山)の呼びかけがなされ、奈良県では5月27日(日)県下8コースで行なわれました。

オオヤマレンゲ山の会が担当したのは東吉野村の高見山。土庫病院友の会山歩きクラブもこの高見山コースに参加しました。

44名の参加者がマイクロバス二台に分乗、2隊に分かれて、同村の杉谷と平野の二

つの登山口から頂上を目指しつつ、ゴミを拾いました。高見山は今までも清掃登山の対象候補に挙げられながら、実施できなかった山で、今回が初めて。それだけに登山道から少し離れた斜面や木立のなかに、空き缶、ペットボトル、ビール瓶、ビニール袋など沢山のゴミが散乱し、埋もれかかっていたりしていました。



沢山のギンリョウソウが

下 ヒメハギ

中には山頂近くの布団など首を傾(かし)げさせるゴミもあり、回収不能の物は村に報告することとし、担いでおろしたのは燃えないゴミ26kg超、燃えるゴミ20kgでした。

クリーンハイクアピールが言うように「山歩き、登山を楽しむだけでなく、素晴らしい山岳自然を次世代に引き継いでいくために、山からゴミをなくすことは私たち登山者が果たさなければならない大切な役割」だと改めて痛感しました。



花はコガクウツギが良く目立ち、コアジサイが咲き始めていました。足元には数種のスマレ、ムラサキサギゴケ、タニギキョウ、ミツバツチグリ、ヒメハギなどが咲き、平野へと下る道の周辺に多くのギンリョウソウが出ていま

下はコガクウツギ

した。山頂からは東に三峰山、大洞山、尼ヶ岳(伊賀富士)、北に鎧岳、兜岳など宇陀の山々、南には大台ヶ原に連なる山並み、そして南西に遠く大普賢岳が見えていました。

下 タニギキョウ

下ミツバツチグリ



湖西・三重岳（さんじょうだけ）

6月6日朝5時出発。天気予報では奈良県南部は雨だが、滋賀北部はましだとのこと。この予報に基づいてリーダーの中野さんが、急遽目的地を変更しての湖西行きだった。

琵琶湖の湖面が見え出すと、案の定青空が広がり始めてきた。

石田川ダムの右岸に在る「武奈ヶ嶽登山口」に車を置いて、上流 **上 タニウツギ** に向けて右岸車道を歩く。谷向かいの山の中腹や河岸にはハウノキや桐など喬木の花が



目立ち、道の両側にはタニウツギ、ウツギ、ミゾホオズキ、コナスビなどが花を見せ、数匹のアサギマダラが乱舞して出迎えてくれる。

一時間ほど歩き、「三重嶽登山口」の道標から登山道に取り付く。いきなりの胸突き坂だが、そこは二上山組、ゆったりと着実に高度を稼いでいく。

人工林下の急登をしのぐと、雑木林の坂道がうねうねと続く。豪雪地帯の山稜の樹々は、芽生えた時から強いられてきた風雪とのたたかいを物語るように曲がりくねり、複雑怪奇な形でゆくてをさえぎる。

中野さんらによると「近畿百名山中、三難山の一つ」だそう。成る程。

ハナヒリノキ(葉の粉を鼻に入れるとくしゃみが出るからと言う)の生い茂る稜線からは、琵琶湖の北部が見え、竹生島がぼんやりと浮かんでいた。

山頂(974m)で昼食後、武奈ヶ嶽(865m)、赤岩山(740)を経て下ったが、「難山」らしい下りだった。



上 ユキザサ

下 コナシ(ズミ)



右は変形ブナの林、下は木の枝にぶらさがるモリアオガエルの卵塊

